

平成31年度予算総額

324億2,250万円

新時代幕開け予算

平成31年度当初予算は、新たな時代がスタートする節目として、また、第2次亀山市総合計画前期基本計画第2次実施計画の初年度として、施策・事業の更なる推進を図るとともに、財政の健全化による持続可能な行財政運営の確立を目指して編成しました。

主な事業として、中心的都市拠点の再生を行う亀山駅周辺整備事業では、市街地再開発組合への支援を行うとともに、周辺道路等の整備に着手します。また、2年後に開催される第76回国民体育大会(三重とこわか国体)の会場となる西野公園の整備を行うほか、子どもの成長を支える環境づくりとして、井田川小学校の校舎増築や放課後児童クラブの整備を行います。さらに、健やかな「ヒト」づくりとして、保健と医療が連携した健康施策の推進を図り、国保データベースの活用などデータヘルスを推進します。そのほか、鈴鹿川等源流域の保存・活用に関する取り組みや、高齢者の移動手段として、乗合タクシーの定着に向けた利用促進等の取り組みを推進します。

予算 総額 324億2,250万円 (前年度比3.1%減)	一般会計 総額201億5,700万円(前年度比5.4%減)
	特別会計 総額 58億7,240万円(前年度比2.1%減)
	企業会計 総額 63億9,310万円(前年度比3.8%増)

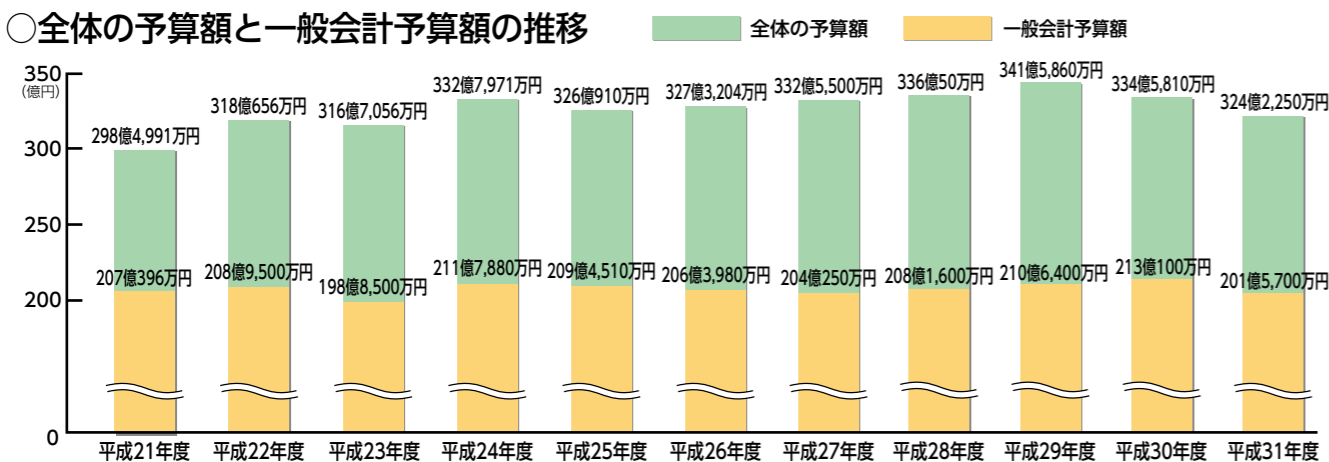
特別会計は、特定の目的のための会計で、特定の収入があり、一般会計と区別して収入・支出を経理する会計です。

- ①国民健康保険事業
44億2,430万円(前年度比1.8%減)
- ②後期高齢者医療事業
9億5,480万円(前年度比5.4%減)
- ③農業集落排水事業
4億9,330万円(前年度比1.6%増)

企業会計は、民間企業と同じように事業収入によって運営する会計です。

- ①水道事業
17億9,820万円(前年度比0.1%減)
- ②工業用水道事業
3億3,850万円(前年度比294.5%増)
- ③公共下水道事業
22億5,000万円(前年度比0.1%増)
- ④病院事業
20億640万円(前年度比0.9%減)

○全体の予算額と一般会計予算額の推移



一般会計を

大解剖

一般会計とは、福祉や防災、道路、教育など市役所の基本的な仕事に関する収入と支出を経理する会計です。

総額 **201億5,700万円**

